平成20年 岩手・宮城内陸地震

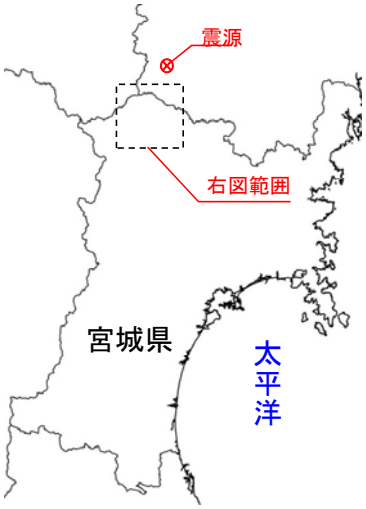
宮城県内の対策概況（宮城北部森林管理署）

がんばろう！東北

平成25年4月30日現在

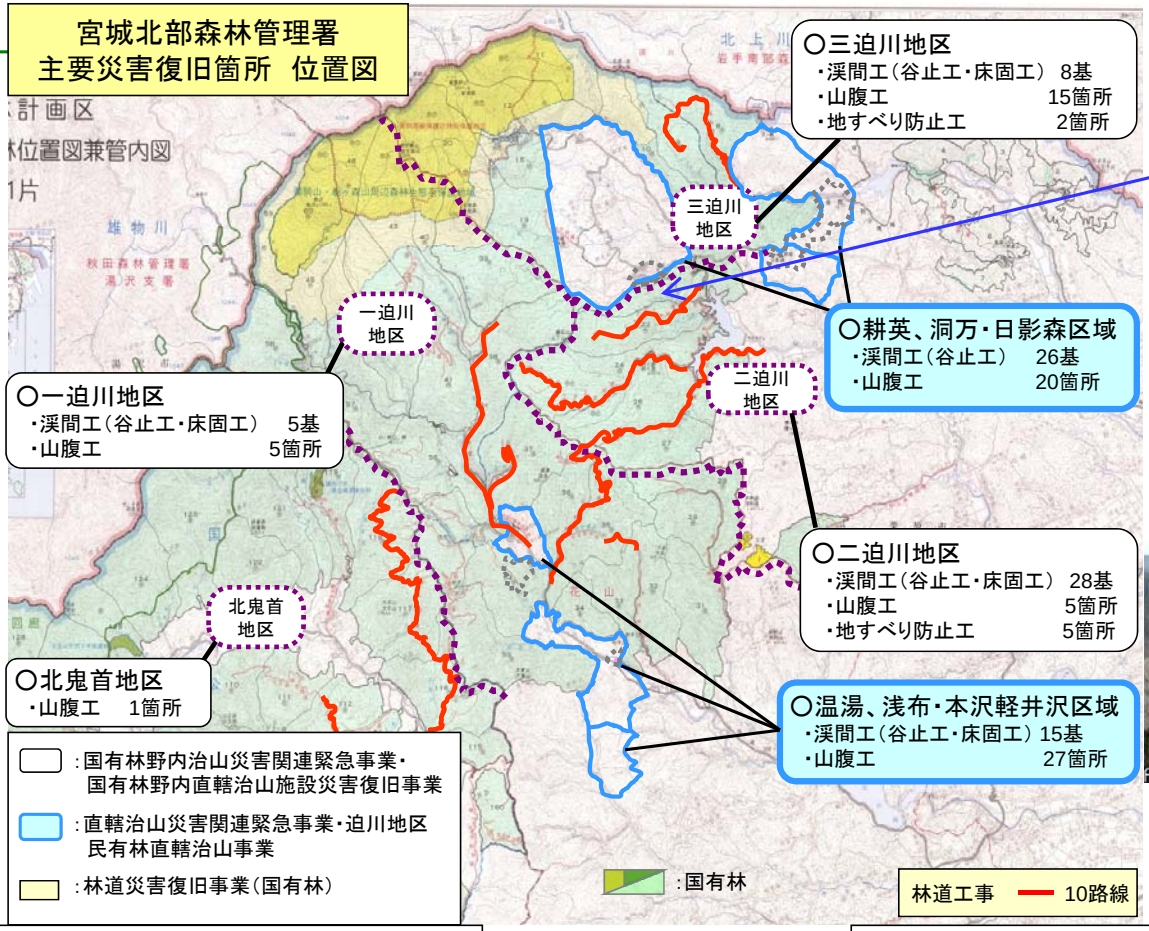
■ 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成24年度末までに国有林治山事業で渓間工41基、山腹工26箇所、地すべり防止工7箇所、民有林直轄治山事業で渓間工41基、山腹工47箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。
平成25年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で7件、民有林治山事業で10件の工事を行います。



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日　午前8時43分頃発生
地震の規模　M7．2
最大震度　6強（宮城県栗原市、岩手県奥州市）
震源地　岩手県内陸南部
地震の深さ　約8km
山腹崩壊箇所　1，062箇所（宮城県内、H20東北森林管理局調べ）

宮城北部森林管理署 主要災害復旧箇所　位置図



○三迫川地区
・渓間工（谷止工・床固工）　8基
・山腹工　15箇所
・地すべり防止工　2箇所

○一迫川地区
・渓間工（谷止工・床固工）　5基
・山腹工　5箇所

○耕英、洞万・日影森区域
・渓間工（谷止工）　26基
・山腹工　20箇所

○二迫川地区
・渓間工（谷止工・床固工）　28基
・山腹工　5箇所
・地すべり防止工　5箇所

○北鬼首地区
・山腹工　1箇所

○温湯、浅布・本沢軽井沢区域
・渓間工（谷止工・床固工）15基
・山腹工　27箇所

□：国有林野内治山災害関連緊急事業・国有林野内直轄治山施設災害復旧事業
□：直轄治山災害関連緊急事業・迫川地区民有林直轄治山事業
□：林道災害復旧事業（国有林）

岩手・宮城内陸地震
荒砥沢監視カメラ

荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
（http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html）

平成25年4月30日撮影

被災地の復旧状況（山腹工の事例）

真ノ沢治山工事

本施工地は栗原市栗駒沼倉に所在する川台山国有林に位置し、付近には農地や民家、市道等の重要な保全対象が存在します。
地震により緩んだ斜面に降った豪雨の影響で、三迫川に面する急斜面で山腹崩壊と地すべりが発生し、大量の不安定土砂が斜面内に堆積しました。
荒廃の拡大を防止するため、被災時から復旧対策を進め、平成25年4月には簡易吹付法枠工、植生基材吹付工などの山腹工が完成しました。

被災地の復旧状況（渓間工の事例）

耕英Ⅱ御沢（H24）治山工事

本施工地は栗原市栗駒字沼倉耕英南地内に位置し、下流には県道等の重要な保全対象が存在します。
地震により御沢の両岸が広範囲に崩壊し、谷に大量の不安定土砂が堆積しました。
被害の拡大が予想されることから、復旧対策を進め、平成24年度はコンクリート谷止工を設置しました。

平成20年 岩手・宮城内陸地震

宮城県内の対策概況（宮城北部森林管理署）

がんばろう！東北

平成25年4月30日現在

平成25年度 工事施工箇所

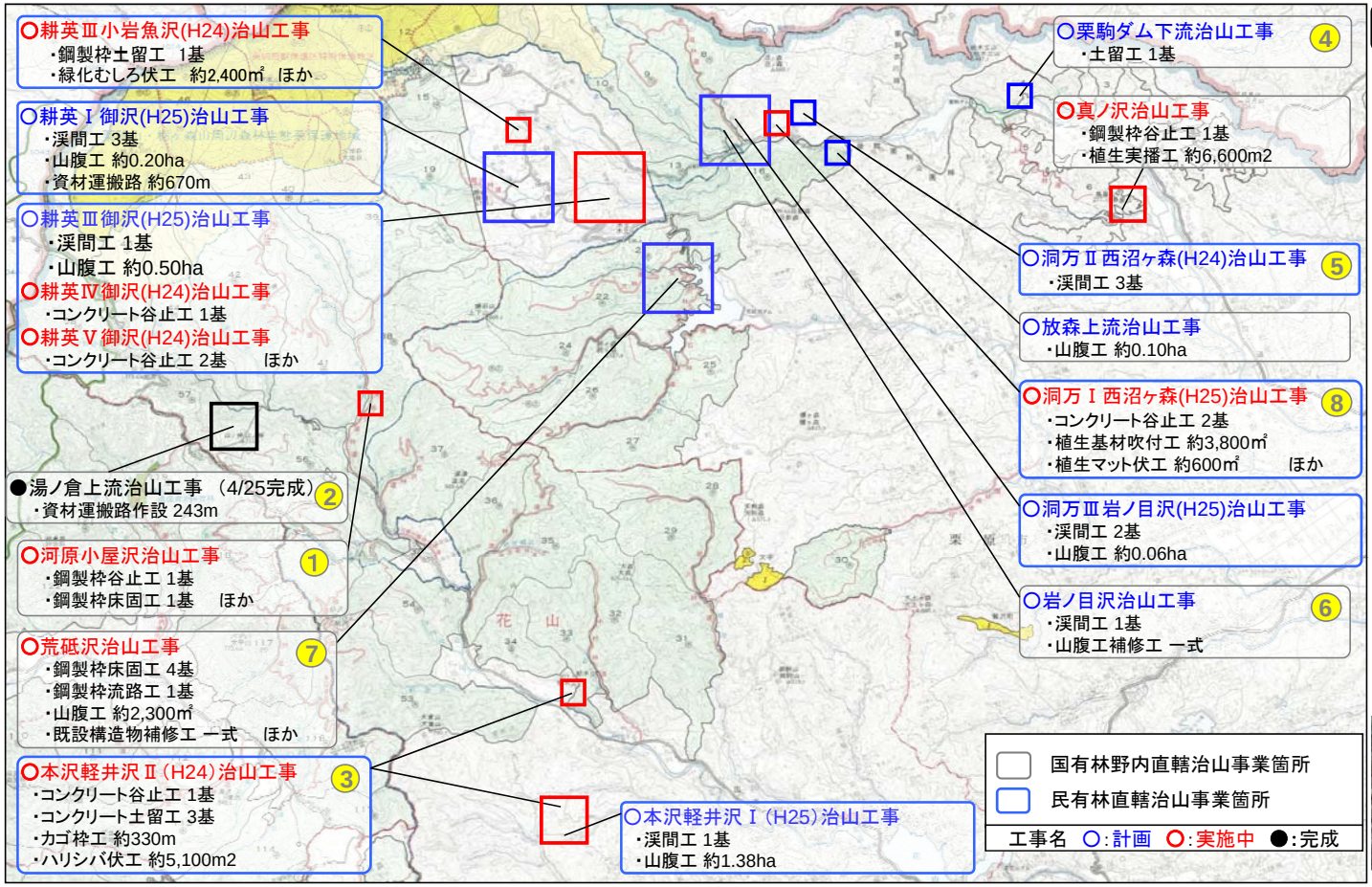
復旧工事を進めます

① **河原小屋沢**
［渓間工（鋼製枠谷止工）］
鋼製枠谷止工を設置します。

② **湯ノ倉上流**
［資材運搬路作設］
資材運搬路243mを作設しました。

③ **本沢軽井沢Ⅱ（H24）**
［山腹工（コンクリート土留工ほか）］
山腹工を行います。

復旧工事を進めます



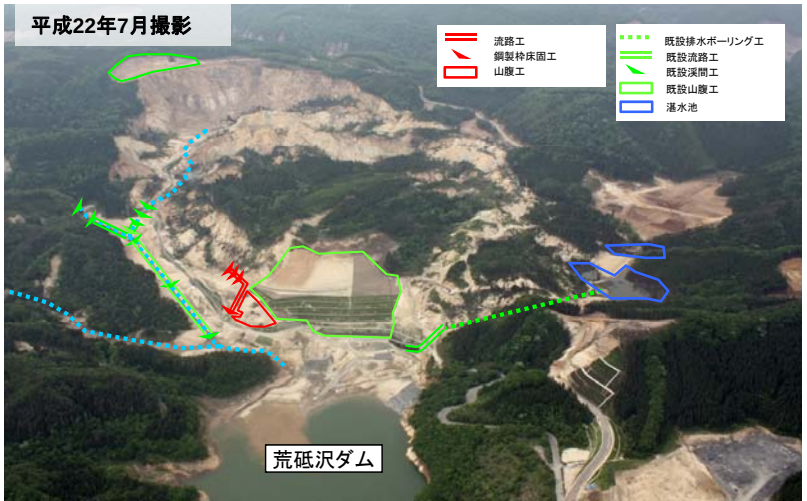
復旧工事を進めます

④ **栗駒ダム下流**
［山腹工（鋼製枠土留工）］
山腹工を行います。

⑤ **洞万Ⅱ西沼ヶ森（H25）**
［渓間工（コンクリート谷止工）］
コンクリート谷止工を設置します。

⑥ **岩ノ目沢**
［渓間工（コンクリート谷止工）］
コンクリート谷止工を設置します。

⑦ 荒砥沢 ［渓間工（鋼製枠床固工）ほか］



地すべりに伴い発生した地すべり土塊側部の崩壊斜面は、もろい地質により雨などによる浸食が進行しています。また、地内では湧水が発生しています。

下流の荒砥沢ダム貯水池へ土砂が流出しないよう、流水の安定化と土砂の固定を目的に鋼製枠床固工、流路工及び山腹工を行います。

⑧ 洞万Ⅰ西沼ヶ森（H25） ［渓間工（コンクリート谷止工）ほか］

地震とその後の豪雨により山腹が崩壊し、土砂が直下の谷に堆積しました。

この土砂を固定し、崩壊の拡大を防ぐため、コンクリート谷止工及び山腹工を行います。

また、木材利用の促進に寄与するため、谷止工に使用する型枠には間伐材を使用します。